

C2「リスクアセスメントの進め方、危険源」講習会

(リスクアセスメントの実行手順, リスク要素、危険源、感電、制御の基礎)

ねらい

機械のリスクアセスメントの進め方は、国際規格ISO 12100に示される手順が世界的な標準として広く採用され、厚生労働省の指針にも示されています。それらを実務に活かせるよう分かり易く解説します。リスクアセスメントでは危険源を見逃してはなりません。危険源を十分に整理して解説します。また機械技術者として知っておくべき電気災害（感電と火災）、制御による安全の基礎を解説します。

本講習会は、機械の設計技術者と品質保証管理者に学んで頂きたい技術を盛り込んだ機械安全の基本講座です。機械ユーザの生産技術の技術者および安全担当スタッフにも有益ですので受講をお勧めします。単独の講座としても受講できます。

開催日と場所および定員

- 開催日 5月26日(火) 受付:9時45分より(開室9時30分)
- 開催場所 「京都テルサ」東館2階 研修室
京都府総合交流プラザ「京都テルサ」 京都府京都市南区東九条下殿田町70番地
- 定員 25名

プログラム

時刻	時間 (分)	講義 No.	内容	講師、備考
10:00 ~ 10:05	5		オリエンテーション	
10:05 ~ 10:40	35	1	安全原則の復習と確認問題 ・安全確認型と危険検出型, 本質安全, 隔離安全, 停止安全	
10:40 ~ 11:10	30		第1章 電気エネルギーによる災害の防止 感電、火災、爆発	
11:10 ~ 11:55	45		第2章 機械の制御の基礎 起動と停止、非常停止、停止カテゴリ、 インタロック、カテゴリ、PL	
11:55 ~ 12:45	50		昼食・休憩	
12:45 ~ 13:35	50	3	第3章 リスクアセスメント及びリスク低減のための方法論の概要 (ISO12100、機械包括的安全基準指針、リスクアセスメント指針) リスク、安全、リスク要素	
13:35 ~ 13:40	5		休憩	
13:35 ~ 14:35	60	4	第3章 リスクアセスメント及びリスク低減のための方法論の概要(続) (ISO12100、機械包括安全基準指針、リスクアセスメント指針) RA実施時期、他	
14:35 ~ 14:45	10		休憩	
14:45 ~ 15:45	60	5	第4章 リスクアセスメント (1) 機械の制限の決定 (2) 危険源	
15:45 ~ 15:50	5		休憩	
15:50 ~ 16:50	60	6	第4章 リスクアセスメント(続き) (2) 危険源(続き)	
16:50 ~ 17:00	10		終了・退室	

本講習会Cコースは、厚生労働省通達「機械安全に関する設計技術者に対する機械安全教育カリキュラム」を完全に満たしています。
* C1,C2,C3,C4,C5講習会及びC6,C7講習会の受講者に修了証を発行します。

講師 当会講師

受講お申込みと受講費用

ホームページよりお願いします。 <https://d-sostap.or.jp/apply/>
会員 16,500円(税込) 一般 22,000円(税込)

お問い合わせ	一般社団法人安全技術普及会 〒140-0011 東京都品川区東大井5-4-19 三井第3ビル TEL 03-5769-0775 FAX 03-5769-0776 Email entry@d-sostap.or.jp ホームページ http://www.d-sostap.or.jp/
--------	--